

年 組 名前：

動物「新居」でゆったり



完成した施設に引っ越したモルモット

再オープンへ引っ越し

2027年度の再オープンに向けて改修工事が進む甲府市立動物園（秋山多江園長）で、新しい獣舎や家畜舎などの施設が完成した。モルモットやヤギなど二部の動物たちの「新居」への引っ越しが始まっているほか、昇仙峡をイメージした岩場などの整備も進んでいる。（三枝大悟）

完成した施設のうち、「ふれあいセンター」は木造平屋で延べ床面積112・5平方メートル。モルモットやウサギ、オウムの一種キバタンが引っ越しを済ませている。動物たちの飼育スペースはいずれも旧獣舎の飼育スペースの1・5倍以上になっていて、屋外の飼育スペースも新たに設けた。

家畜舎と厩舎はヤギやブタ、ポニーなどを飼育する。ヤギの飼育スペースはこれまで屋外のコンクリート床のみだったが、新施設は自然に近い土の地面と屋内スペースが加わったほか、昇仙峡をイメージした岩場などの整備も進む。ポニーの運動場には乗馬台を新設した。

このほか、来園者の受付や授乳室、事務所を備えたヒジターセンター、園内の動物専用の動物病院も完成した。市公園緑地課によると、本年度はライオンやクマが利用する新しい猛獣舎などを整備する計画という。

（2024年5月22日付 山梨日日新聞 14面）

問1 甲府市立動物園では、再オープンに向け改修工事が進んでいます。ふれあいセンターには、どのような動物が引っ越しを済ませていますか。

.....

問2 ヤギの飼育スペースは、どこをどのように変更し、なにを整備しましたか。

.....

問3 あなたが、市立動物園に「あったらいいな」と思うものを書いてください。

.....